

2015年6月30日

各位

会社名 ライフネット生命保険株式会社  
 代表者名 代表取締役社長兼 COO 岩瀬 大輔  
 (証券コード:7157 東証マザーズ)

## ライフネット生命保険 株主総会の出席者アンケートの集計結果を開示 日曜日の午後開催で、約 200 名が出席

ライフネット生命保険株式会社 (URL: <http://www.lifenet-seimei.co.jp/> 本社:東京都千代田区、代表取締役社長兼 COO 岩瀬大輔)は、2015年6月21日に開催した第9回定時株主総会における出席者アンケートを集計しましたので、その結果をお知らせします。

### ■第9回定時株主総会の概要と特色

当社は、2015年6月21日(日曜日)に、東京都千代田区の日経ホールで定時株主総会を開催しました。当社は、インターネットを主な販売チャネルとすることから、株主総会を株主等のステークホルダーと直接お会いすることができる貴重な接点と位置づけるとともに、IR マニフェスト (<http://ir.lifenet-seimei.co.jp/irmanifesto.html>)に基づき、「顔の見える株主総会」をテーマに運営しています。そのための具体的な取組みは、以下のとおりです。

#### 【開催前】

- ・希望者に対する招集通知の電子メール配信
- ・株主総会に関する情報の SNS による周知
- ・契約者のマイページおよび株主・投資家情報ウェブサイトで事前に質問を募集
- ・機関投資家向け議決権電子行使プラットフォームの利用
- ・有価証券報告書を株主総会前に開示

#### 【開催日以降】

- ・日曜日の午後開催(14時開会)
- ・契約者および報道関係者の招待
- ・代表取締役による出席者への受付での挨拶
- ・社員(約90名)の半数をスタッフとして配置
- ・株主総会の報告事項の動画、質疑応答の概要等を株主・投資家情報ウェブサイトに掲載 (<http://ir.lifenet-seimei.co.jp/stock/meeting.html>)

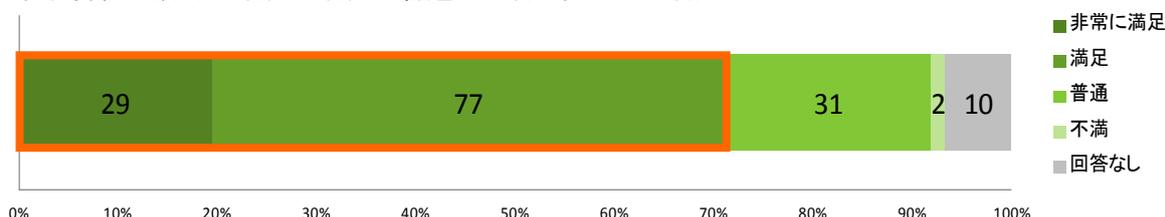
この結果、当日は、株主 151 名、契約者・報道関係者等 40 名のご出席のもと、13 名からの 30 問の活発な質疑応答時間を含め、2時間34分の株主総会となりました。また、今後のより良い株主総会の運営のために、当日の出席者にアンケートを実施しました。アンケート結果の概要は以下のとおりです。

### ■出席者アンケートの結果概要(n=149 単位:人)

当日ご出席いただいた方のうち、149 名に、出席者アンケートにご協力いただきました。このうち、株主総会の総合評価として、アンケート回答者の約 70%超に当たる 106 名から「非常に満足」、「満足」との回答をいただきました。

#### 設問：本日の株主総会の感想をお聞かせください。

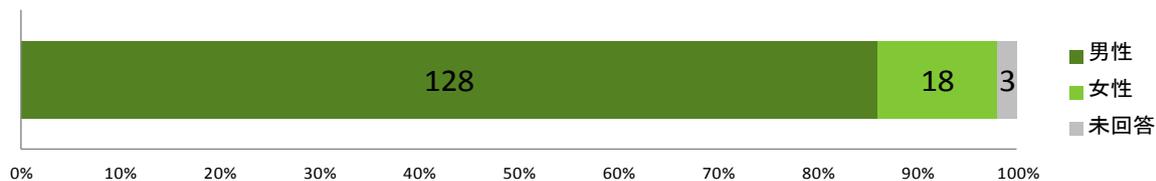
総合評価 (非常に満足・満足・普通・不満・非常に不満)



ライフネット生命保険株式会社

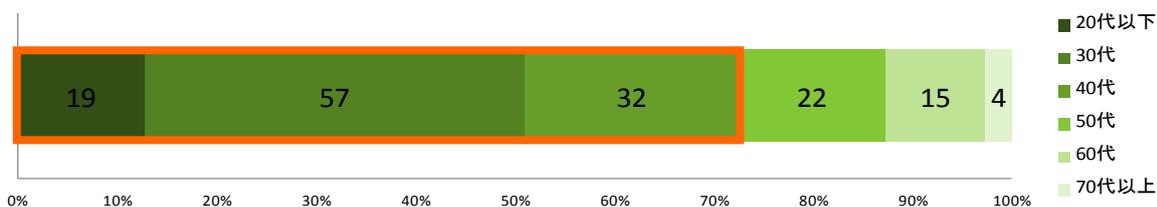
## 設問：性別

男性が約 86%を占める結果となり、男女比は、前回の株主総会とほぼ同じ割合となりました。



## 設問：年齢

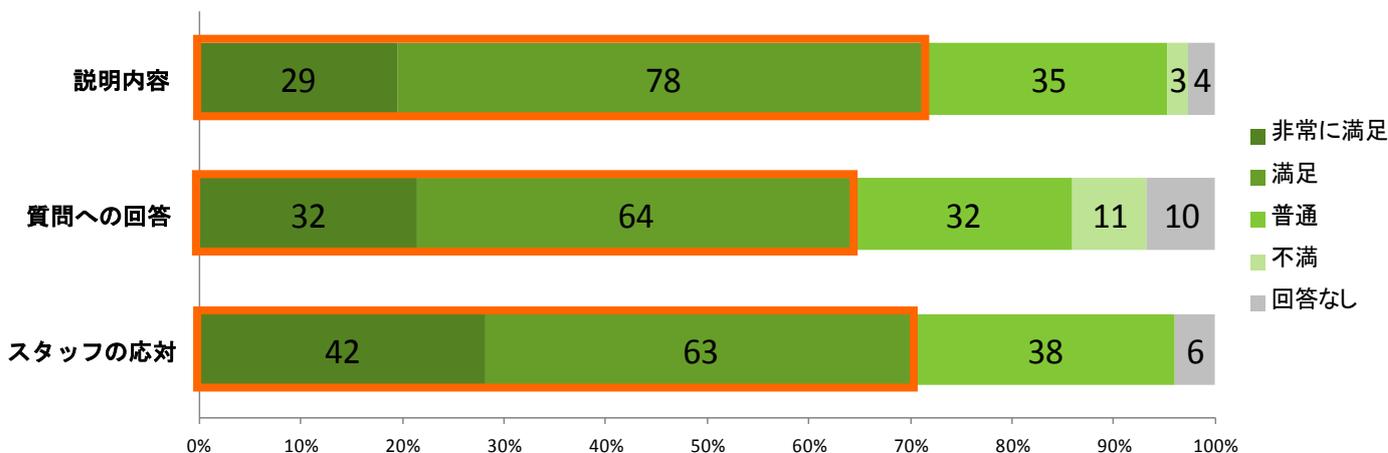
20代以下および30代で約51%、40代まで加えると約72%と、当社の保険契約者同様、今回も比較的若年層のステークホルダーに多くご出席いただきました。



**設問：本日の株主総会の感想をお聞かせください。**

説明内容 (非常に満足・満足・普通・不満・非常に不満)  
 質問への回答 (非常に満足・満足・普通・不満・非常に不満)  
 スタッフの応対 (非常に満足・満足・普通・不満・非常に不満)

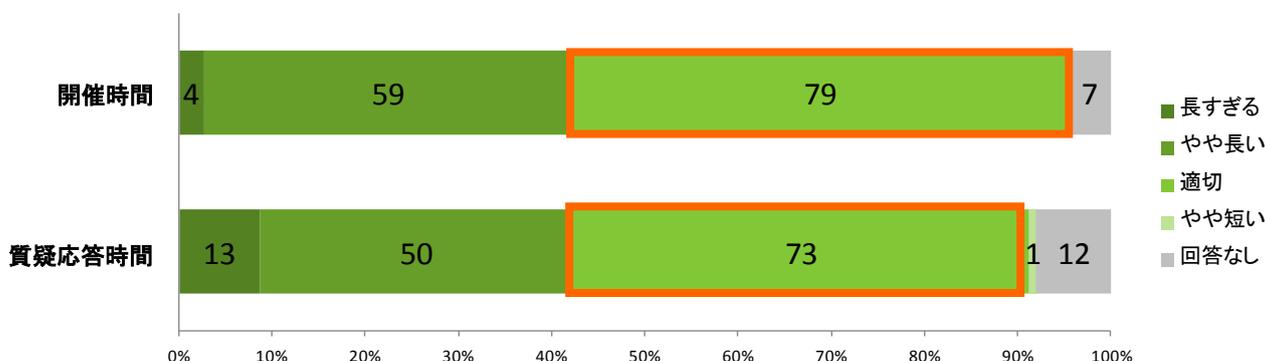
全般的に「非常に満足」、「満足」という高い評価をいただきました。当日の報告事項は、議長を務めた代表取締役会長兼CEOの出口に代わり、代表取締役社長兼COOの岩瀬が、スクリーンを用いてご説明しました。また、質疑応答では、30問の質問に対して、丁寧に回答することを心がけました。さらに、当日は、スタッフとして全社員約90名の半数に当たる社員がステークホルダーの皆さまをお迎えしました。当社の重要なステークホルダーの皆さまから直接、叱咤激励をいただいたことを、役職員一同、今後の事業展開に活かしたいと考えています。



**設問：本日の株主総会の感想をお聞かせください。**

開催時間 (長すぎる・やや長い・適切・やや短い・短すぎる)  
 質疑応答時間 (長すぎる・やや長い・適切・やや短い・短すぎる)

開催時間は、目的事項のご説明等に約30分、事前質問への回答を含めた質疑応答に約2時間弱となり、全体で2時間34分と比較的長時間の株主総会となりました。そのため、「長すぎる」、「やや長い」と回答した出席者の割合が前回の株主総会よりも増加しました。一方で、質疑応答は、株主の皆さまと対話できる貴重な機会であるため、できる限りのご質問を受け付け、かつ丁寧な対応を心がけた結果、約半数の出席者には「適切」と評価いただけたものと考えています。



**設問：本日の株主総会において、特に良い印象を受けた事象があれば、お聞かせください。**

質疑に対する丁寧な回答、役職員とのコミュニケーション、日曜日の午後の開催に対して高い評価をいただきました。代表的なご意見は以下のとおりです。

- ・ 質疑に対して、真摯に受け答えしていた（20代 男性）
- ・ 入り口で出口会長と岩瀬社長が株主と契約者に挨拶していたこと（30代 女性）
- ・ 契約者も参加できるところがよかった（30代 女性）
- ・ 会場内で騒いだ株主に退場を命じた、毅然とした議長の対応はよかった（30代 男性）
- ・ 日曜日の開催はありがたい（50代 男性）
- ・ 社員スタッフの方の対応が丁寧で安心できた（20代 女性）

**設問：本日の株主総会において、特に改善した方が良い事象があれば、お聞かせください。**

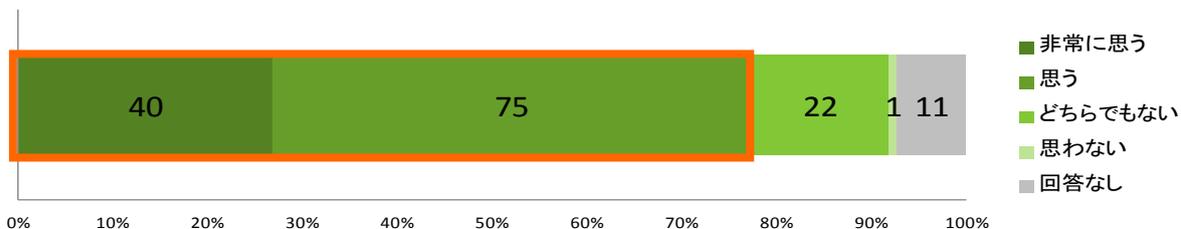
質疑応答の回答ではより具体的な話が聞きたい、といったご意見に加えて、ライフネット生命らしい株主総会作りを行ってほしい、といったご要望をいただきました。代表的なご意見は以下のとおりです。

- ・ 株主から広く質問を受ける姿勢は好感を持つが、質問数は絞ってほしい（40代 男性）
- ・ 質疑応答の回答に具体性に欠けたものがあった（30代 女性）
- ・ 生命保険会社特有の専門用語などについて説明してほしかった（70代以上 男性）
- ・ 大声で騒ぐ株主に対して事前に対応してほしい（40代 男性）
- ・ ベンチャー企業らしいユニークな要素を組み入れた株主総会にしてほしい（60代 男性）
- ・ 株主総会という堅い場ではあるものの、経営陣にはライフネット生命の良さである温かみをもっと出してほしい（30代 男性）

**設問：また来年も参加したいと思いますか。**

(非常に思う・思う・どちらでもない・思わない・全く思わない)

約 77%の出席者から、来年も参加したいとのお回答をいただきました。株主総会へのご出席に当たっては、基本的に議決権を有する株主であることが前提となりますので、次回以降もご出席いただくために、継続的に株式を保有していただけるよう、魅力的な会社であり続けることを目指します。また、契約者をはじめ、ステークホルダーの皆さまにも継続的にご参加いただけるよう、今後とも工夫と改善を図ります。



**設問：当社に対するご意見・ご要望があれば、お聞かせください。**

数々の叱咤激励をいただき、誠にありがとうございました。ご期待にお応えできるように努めてまいります。代表的なご意見は以下のとおりです。

- ・ マニフェストに基づいた正直な経営を続けて行ってほしい（30代 男性）
- ・ KDDI 株式会社との提携に期待している（20代 男性）
- ・ 会社のユニークさでは際立っていると思う（60代 女性）
- ・ 出口社長や岩瀬社長の著書をきっかけに両名およびライフネット生命に共感し、契約者となりました。応援しています（20代 男性）
- ・ 他のネット生保との差別化をもっと強く図ってほしい（30代 女性）
- ・ 新契約業績の底上げに向けた課題を克服し、今年度の実質的黑字化必達を望む（60代 男性）



アンケートの貴重なご意見を参考に、今後も皆さまとともに歩み続けます。今後とも当社に対するご支援をよろしくお願い申し上げます。

**ライフネット生命について URL: <http://www.lifenet-seimei.co.jp/>**

ライフネット生命保険は、相互扶助という生命保険の原点に戻り、「正直に経営し、わかりやすく、安く便利な商品・サービスの提供を追求する」という理念のもとに設立された、インターネットを主な販売チャネルとする新しいスタイルの生命保険会社です。インターネットの活用により、高い価格競争力と24時間いつでも申し込み可能な利便性を両立しました。徹底した情報開示やメール・電話・対面での保険相談などを通じて、お客さまに「比較し、理解し、納得して」ご契約いただく透明性の高い生命保険の選び方を推奨し、「生命(いのち)のきずな＝ライフネット」を世の中に広げていきたいと考えています。

会社および商品の詳細は <http://www.lifenet-seimei.co.jp/> をご覧ください。  
株主・投資家向けの情報は <http://ir.lifenet-seimei.co.jp/> をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先  
03-5216-7900(広報:関谷/IR:近藤)